



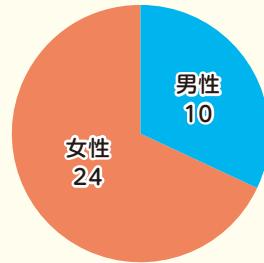
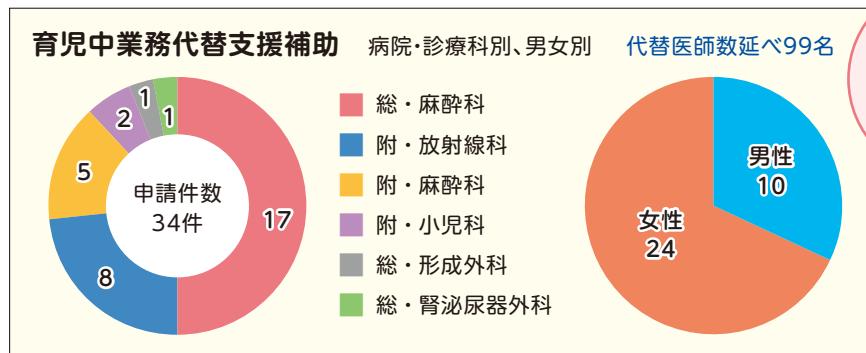
◆ 子育て医師への支援(期間限定)～申請状況中間報告～ ◆

ア プ リ コ ッ ト 通 信 Vol.12 でご案内しました、厚生労働省「令和7年度子育て世代の医療職支援事業」に伴う子育て中の医師への新規・継続支援について、11月末時点の申請状況をご報告します。

予算には限りがありますので、早期に必要書類等をオール女性医師キャリアセンターへ提出してください。

●実施期間：令和7年7月15日(火)～令和8年2月21日(土)

●申請期限：令和8年2月27日(金)【厳守】



家事支援
サービス補助
申請件数
3件

外国語論文
校正費用助成
申請件数
1件



特設サイトは
こちら



◆ 実施報告：「医師のキャリア形成」に関する講義 ◆

11月19日(水)に医学部1学年の「医療プロフェッショナリズムの実践A1」内で「医師のキャリア形成」に関する講義を実施しました。本講義は、医師のキャリアについて早期から考える機会となるよう昨年度から教育センターご協力の元に実施しており、キャリア形成に関する総論と女性医師奨励賞(ア プ リ コ ッ ト 賞)受賞者によるキャリア紹介で構成しています。

今年度は、昨年度のアンケートで「男性医師のキャリアについても知りたい」との要望を踏まえ、女性医師活躍推進賞(ア プ リ コ ッ ト サポート賞)受賞講座から男性育休を取得した医師のキャリア紹介も取り入れました。

講義内2名の講演内容を一部紹介いたします。

男性育休・男性医師のキャリアについて

野村 直宏 先生(小児科学講座)

仕事は人生の「キャリア」の一部であり、仕事だけでなく私生活の充実も大事である。キャリアにおいて、①目標の設定とモチベーションの継続 ②自分自身による意思決定 ③人との関係性 ④仕事以外のやりがいやリフレッシュできること、が大切だと思う。

今後、継続して医学に取り組んでいく上で、高いモチベーションを維持するには、目標の設定や自分自身で意思を決定することが必要である。また、今後医学者としても社会人としても、人との関係性は重要で、学生の頃から仲の良い人だけでなく、同期や先輩後輩、指導者など、様々な人と適切なコミュニケーションをとることは大切である。そして、学生の間に勉学に励むのは勿論、社会人として様々な挑戦や体験をし、喜びや失敗を経験することで、人間としての幅や価値観も広がるのではないかと思う。

育児休業は子や家族と過ごす大切な時間となり、また父としての自覚を持つ時間にもなる。一経験にはなるが、今後皆さんの参考になればと思う。

研究×留学=ちょっと人生が広がった話

村上 綾 先生(神経内科学講座)

留学のよかったです・大変だったこと



●研究に専念できる

●交流の輪が広がる



●異文化や日本への理解が深まる

●子どもがいても働きやすい環境



●費用がかかる

●慣れない環境・非日本語圏での生活

医師6年目に大学院に入学し、産休育休を経て学位を取得、その後2年後に2人の子どもを連れて、アメリカのMayo Clinicに1年間留学した。動機は、ブレインバンクを有する施設で希少な変性疾患の病理像を見て学びたかったため。

平日は、8時から18時前まで研究室おり、帰宅後の家事はベビーシッターに手伝ってもらった。休日も近所の方に子どもを預けることができる日は研究室に出向き、それ以外は子どもとの時間も大切に過ごした。

留学に興味がある方の進路選択のヒントにしていただけたらと思う。

講演会開催のお知らせ



お申込みは
こちら



子育て医師キャリア支援講演会

～支え合える環境がここにある～学内支援とキャリアの話～
(厚生労働省「令和7年度子育て世代の医療職支援事業」)

◆日 時：2月12日(木)16:30～17:30

◆形 式：オンライン(Zoom)

◆申込期限：2月11日(水)17:00

※お申込み後、開催1週間前を目途に視聴用URLをお送りいたします。
(直前のお申込みにも随時対応します。)



お問い合わせ、ご意見、ご連絡先

センターメールアドレス ajcareer@hirakata.kmu.ac.jp
センターホームページ <https://www7.kmu.ac.jp/ajcareer/>

内 線
80-3855

職員にご用事がある場合は、枚方学舎医学部棟 10階
オール女性医師キャリアセンターまでお越しください。

